

一般社団法人 山梨県作業療法士会

会長：山本伸一 認知症作業療法推進委員会：担当理事 松田智子、委員長 森彰司

◆ 活動報告概要

当士会では、「山梨県の認知症支援に関して、作業療法士ができることを考え、実践する」をスローガンに、地域に向けた活動に重きを置いている。活動開始当初は、「リハビリと認知症って関係あるの?」「作業療法って何?」という地域の意見が多く、作業療法士を地域に知ってもらうことから活動を始めていった。平成28年には、地域住民向けの認知症啓発イベント「認知症スタンプラリー」を開催した。それをきっかけに「OTが認知症について活動している」「OT士会なら何かしてくれるのでは?」と徐々に知名度が上がり、県や市町村、企業等からの研修依頼やイベント協力依頼が増加し、活動の場が広がっている。

◆ 認知症スタンプラリー

当委員会主催で、公共の公園にてイベントを開催した。平成28年度は、200名を超える参加者が得られ、平成29年度は雨天での開催にも関わらず県外の参加者も得られた。イベントを通して、専門職同士・市町村・家族会・地域のキャラバンメイト・一般企業などのつながりが築け、活動の幅を広げるきっかけになっている。



市役所・家族会



スターバックスコーヒー



キャラバンメイト



アニマルセラピー

◆ 各種講座・イベント協力・取材等

県や市町村、企業等からの依頼を受け、認知症予防講座、ボランティア養成講座、認知症サポーター養成講座等を多数開催している。今年度からは、市町村主催のイベント協力や既存のお祭りでブースを担当するなどの場を増やしている。



認知症サポーター養成講座
(県士会、住民、企業等)



認知症予防講座 (住民対象)



市町村イベント・
カフェ等 協力



雑誌掲載・県の認知症
対策推進計画に掲載

◆ 各種講座・イベント協力・取材等

これまで、県士会会員全員認知症サポーター計画を立て、会員の半数以上がサポーターになった。今年度は、認知症アップデート研修会を開催した。

◆ その他、今後の展望

現在、県内で認知症に関する作業療法士の活動が注目され始めている。県士会の活動から興味を持ってもらい、初期集中支援チームに関わり始めることや認知症カフェの相談を受けることなどが増えている。

イベントや市町村での活動は継続しながら、今後は活動を体系的に整理していく必要がある。他の専門職や関係機関、企業や地域住民とのつながりを広げ、一職種の活動に留まらず、地域づくりに参画できるようにしていきたい。